

# 愛知県の医療的ケア児支援 センターモデルについて

～支援センターを重心施設等に複数か所設置した事例～

愛知県福祉局福祉部  
障害福祉課医療療育支援室

## 愛知県の医療的ケア児者支援に関する調査

### ○医療的ケア児者支援実態調査(2019年度)

対象者:40歳未満の人口呼吸管理等を要する在宅の医療的ケア児者

(1次調査内容)医療的ケア児の年齢や医療的ケアの種類、年齢等

※名古屋市と共同で実施

・調査方法 医療機関、訪問看護ステーションなどに調査票を配布

(2次調査内容)医療的ケア児の生活実態や、各サービスの支援ニーズ等

・調査方法 無記名式質問用紙を、1次調査の調査機関に送付し、医療的ケア児(家族)へ手渡し(回答は直接県へ郵送)

### ○医療的ケア児社会資源現況調査(2020年度)

対象:障害福祉サービス事業所、訪問看護ステーション、医療機関

(調査内容)障害福祉サービス事業所における医療的ケア児受入状況、事業所間の連携状況等

# 2019年度愛知県医療的ケア児者実態調査結果

## ○愛知県の医療的ケア児者数

## ○20歳未満の医療的ケア児数の状況

単位：人

圏域	医療的ケア児者数（二次調査対象者数） ①	（再掲）年齢別内訳			
		20歳未満（0歳～19歳）			18歳～39歳
		0歳～5歳	6歳～17歳	②	
名古屋	609	219	215	456	175
尾張中部 (名古屋市除く)	47	23	15	39	9
海部	75	35	18	56	22
尾張東部	111	39	39	82	33
尾張西部	110	53	31	85	26
尾張北部	197	67	73	145	57
知多半島	147	53	49	112	45
西三河北部	111	33	54	88	24
西三河南部東	124	62	43	109	19
西三河南部西	184	68	55	131	61
東三河北部	20	4	5	10	11
東三河南部	201	53	85	147	63
<b>合計</b>	<b>1,936</b>	<b>709</b>	<b>682</b>	<b>1,460</b>	<b>545</b>

単位：人

人口 (全年齢)	医療的ケア児 (0～19歳) 人口(全年齢) 1万人あたり	(再掲) 人工呼吸器管理 (0～19歳)	人工呼吸器管理 (0～19歳) 人口(全年齢) 1万人あたり	20歳未満 人口 (0～19歳)	医療的ケア児 (20歳未満人口) 1万人あたり)	(再掲)人工 呼吸器管理(20 歳未満人口1万 人あたり)
③	②/③	④	④/③	⑤	②/⑤	④/⑤
2,317,646	1.968	96	0.414	377,748	12.072	2.541
170,997	2.281	12	0.702	32,988	11.822	3.638
327,396	1.710	11	0.336	58,861	9.514	1.869
475,007	1.726	22	0.463	92,039	8.909	2.390
515,294	1.650	24	0.466	94,475	8.997	2.540
732,463	1.980	39	0.532	133,841	10.834	2.914
625,495	1.791	27	0.432	119,450	9.376	2.260
488,167	1.803	25	0.512	94,120	9.350	2.656
429,041	2.541	32	0.746	84,152	12.953	3.803
703,785	1.861	24	0.341	138,570	9.454	1.732
53,539	1.868	1	0.187	8,158	12.258	1.226
696,777	2.110	42	0.603	128,893	11.405	3.259
<b>7,535,607</b>	<b>1.937</b>	<b>355</b>	<b>0.471</b>	<b>1,363,295</b>	<b>10.709</b>	<b>2.604</b>

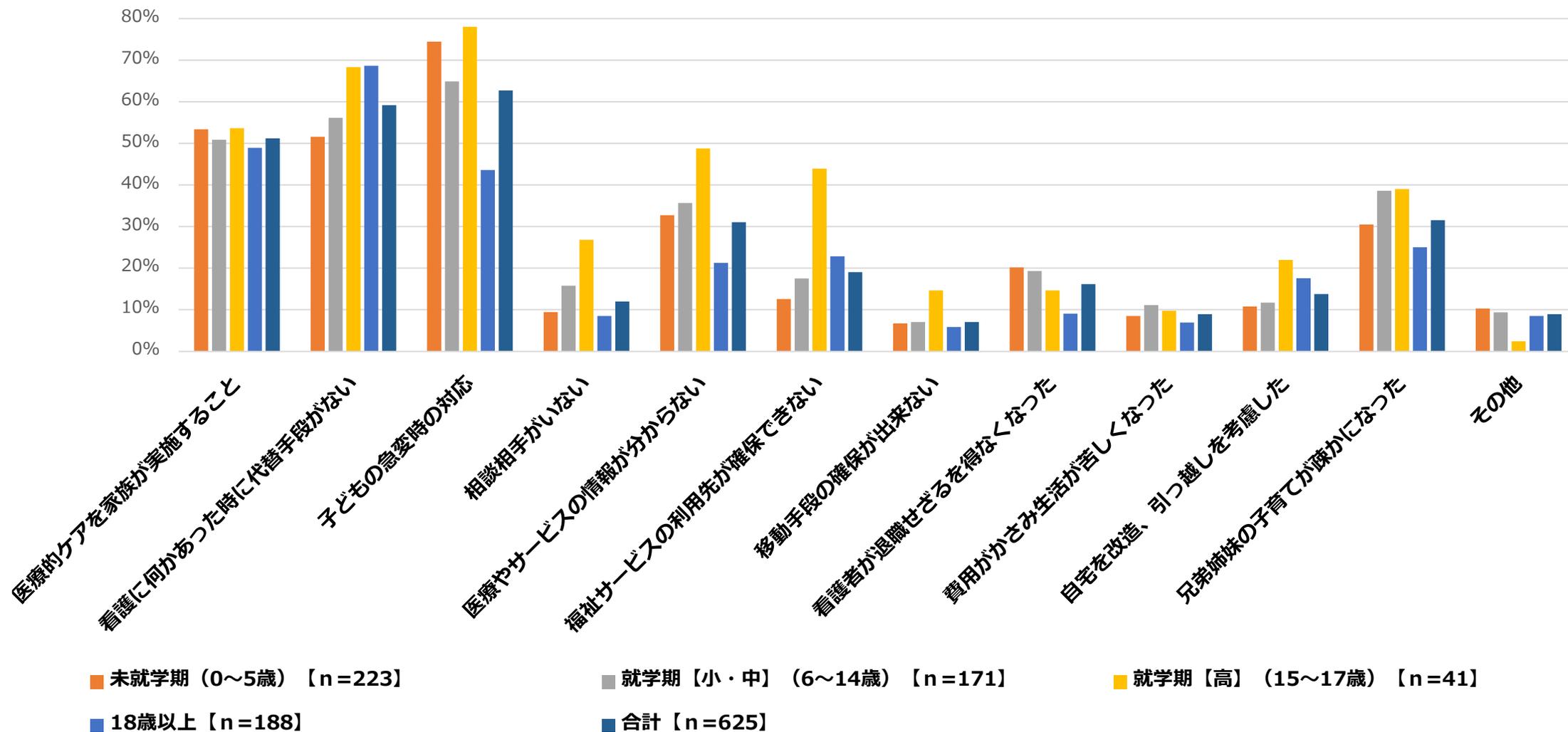
※人口は、2019(平成31)年4月1日時点（「あいちの人口」より）。

※医療的ケア児者数は、市町村からの報告数又は一次調査結果に基づく県の推計値。

※調査時点は、2019(平成31)年4月1日時点（ただし、学期の児童・生徒は2019(令和元)年5月1日時点）。

# 2019年度愛知県医療的ケア児者実態調査結果

## 在宅での医療的ケア開始時に困ったことや不安に感じたこと



## 愛知県の医療的ケア児支援の取組(～2021年度)

### ○医療的ケア児支援に関する協議の場の設置状況

⇒県及び障害保健福祉圏域単位(11か所)に設置

⇒県内全54市町村に設置

### ○医療的ケア児等コーディネーター養成研修(名古屋市と共催)

⇒2018年度～ 修了者365名(うち名古屋市71名)

### ○医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修

⇒2021年度～ 修了者105名

### ○医療的ケア児等アドバイザー事業

⇒2021年度～ アドバイザー登録12名

(2021年度末時点)

## 医療的ケア児等コーディネーターの配置状況等

### (1) 医療的ケア児等コーディネーター配置状況内訳(2022年4月現在)

#### ○市町村別配置状況

市町村	配置人数	内 訳				
		相談支援 専門員	保健師	相談員/ 支援員	看護師	その他
1 名古屋市	71	54	7	0	3	7
2 豊橋市	12	7	2	0	1	2
3 岡崎市	5	3	1	0	1	0
4 一宮市	6	5	1	0	0	0
5 瀬戸市	6	2	3	0	0	1
6 半田市	4	2	2	0	0	0
7 春日井市	3	3	0	0	0	0
8 豊川市	3	2	0	0	1	0
9 津島市	4	2	2	0	0	0
10 碧南市	2	2	0	0	0	0
11 刈谷市	6	5	0	0	0	1
12 豊田市	4	4	0	0	0	0
13 安城市	6	4	0	1	1	0
14 西尾市	3	2	0	0	1	0
15 蒲郡市	6	5	1	0	0	0
16 犬山市	3	1	2	0	0	0
17 常滑市	4	3	1	0	0	0
18 江南市	4	0	1	1	0	2
19 小牧市	3	2	1	0	0	0
20 稲沢市	7	5	2	0	0	0
21 新城市	1	0	1	0	0	0
22 東海市	1	0	1	0	0	0
23 大府市	3	2	1	0	0	0
24 知多市	4	1	1	0	0	2
25 知立市	1	0	1	0	0	0
26 尾張旭市	3	1	1	0	0	1
27 高浜市	4	0	1	3	0	0

市町村	配置人数	内 訳				
		相談支援 専門員	保健師	相談員/ 支援員	看護師	その他
28 岩倉市	3	2	1	0	0	0
29 豊明市	1	0	1	0	0	0
30 日進市	3	3	0	0	0	0
31 田原市	3	2	1	0	0	0
32 愛西市	4	1	3	0	0	0
33 清須市	6	0	5	1	0	0
34 北名古屋市	6	5	1	0	0	0
35 弥富市	5	4	1	0	0	0
36 みよし市	5	2	2	0	0	1
37 あま市	4	4	0	0	0	0
38 長久手市	7	2	4	0	0	1
39 東郷町	3	0	3	0	0	0
40 豊山町	1	0	1	0	0	0
41 大口町	5	2	2	0	0	1
42 扶桑町	5	2	0	1	1	1
43 大治町	4	2	2	0	0	0
44 蟹江町	3	2	1	0	0	0
45 飛島村	4	2	1	0	0	1
46 阿久比町	2	0	2	0	0	0
47 東浦町	3	2	1	0	0	0
48 南知多町	4	1	3	0	0	0
49 美浜町	2	1	1	0	0	0
50 武豊町	1	1	0	0	0	0
51 幸田町	1	0	0	0	0	1
52 設楽町	1	0	1	0	0	0
53 東栄町	1	0	1	0	0	0
54 豊根村	—	0	0	0	0	0
計	266	157	71	7	9	22

#### ○職種別配置状況

職種	人数	割合
相談支援専門員	157	59.0%
保健師	71	26.7%
看護師	9	3.4%
相談員/支援員	7	2.6%
その他	22	8.3%
計	266	100.0%

#### ○配置の推移

配置年度	人数	増減	市町村
令和元年度	117	—	48
令和2年度	181	+64	53
令和3年度	211	+30	53
令和4年度	266	+55	53

#### ○市町村ごとの養成の方針(抜粋)

- ・養成研修の定員に収まるよう、医療的ケア児への支援実績等を踏まえ、養成者を決定している。
- ・人事異動があった場合でも、配置しているコーディネーターに不足が生じないよう各分野バランスよく受講させている。
- ・全ての研修受講希望者を受講させることとしているが、定員を超える場合は、現在の配置のバランスを考慮し、優先順位を決めている。
- ・定員を超える場合は、支援の関わりの多い職種を優先して、受講させている。

#### ○市町村ごとの配置の方針(抜粋)

- ・研修受講者全員を配置することとしている。
- ・管内で地理的に分散するよう、保健や福祉の関係機関に配置するようにしている。
- ・医療的ケア児・者を支援する事業所にまんべんなく配置することとしている。
- ・医療的ケア児支援に関わる機関に幅広く配置できるよう、様々な機関の職員に受講を促し、配置していくこととしている。
- ・保健、医療、障害福祉、教育、保育の分野での配置を基本としている。

## 愛知県における重症心身障害児者施設(医療型障害児入所施設・療養介護事業所)の状況

・2014年4月時点 県立2施設、国立2施設 = 4施設390床

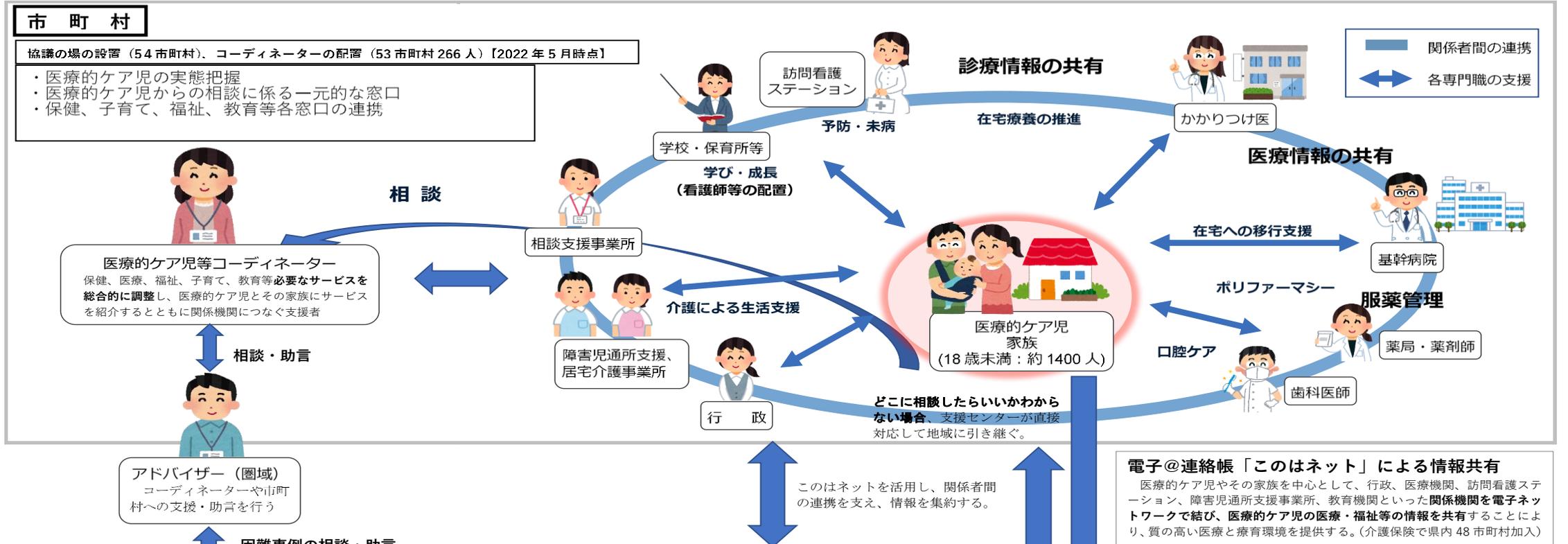
【2014年4月】 障害者福祉減税基金創設(30億円)  
民間法人の施設開所を促進



・2022年12月時点 県立3施設、国立2施設、名古屋市立1施設、  
民間法人3施設 = 9施設758床

- 地域性を考慮した配置(名古屋、尾張、知多半島、西三河、東三河)
- 重心児者への支援の知識・経験が活かせる(既に医療的ケア児関与)
- 各施設間での連携(看護、リハビリ等専門職単位)が図られている

# 愛知県における医療的ケア児への支援



## 医療的ケア児支援センター

- 電子@連絡帳「このはネット」を活用した、医療的ケア児の地域包括ケアシステムの構築
- 地域において、医療的ケア児への支援がより充実したものになるよう、専門的・広域的な立場からの支援
- ライフステージ、障害の状況変化に応じた、継続的かつきめ細かな支援ができる人材の育成

### 基幹支援センター（愛知県医療療育総合センター）

- 専門相談：地域支援センターにおいて対応困難な高度な専門性が必要とされる相談への対応及び地域への引き継ぎ
- 地域支援：(研修) 全県を対象とした看護師・保育士等専門職の養成・質向上のための研修等の実施  
(情報発信) 全県規模の医療的ケア児や関係機関の支援に役立つウェブサイトの作成・管理  
地域の社会資源に関する情報収集及び関係機関への情報発信
- 関係機関連携：地域支援センター、アドバイザーとの連携

※基幹支援センターは、一部地域の地域支援センターの機能を担う。



### 地域支援センター（6か所：重症心身障害児者施設等）担当圏域を設定

- 専門相談：市町村内では対応困難な専門性が必要とされる相談への対応及び地域への引き継ぎ  
どこに相談すればよいかかわからない地域の医療的ケア児家族からの相談への対応、保育所・障害福祉サービス事業所等支援者からの相談への対応
- 地域支援：(研修) 事業所への訪問研修の実施 (情報発信) 事業所の情報収集等
- 関係機関連携：担当圏域内の関係機関の担当者による連絡会議の開催  
連携 市町村の医療的ケア児の協議の場への参画等

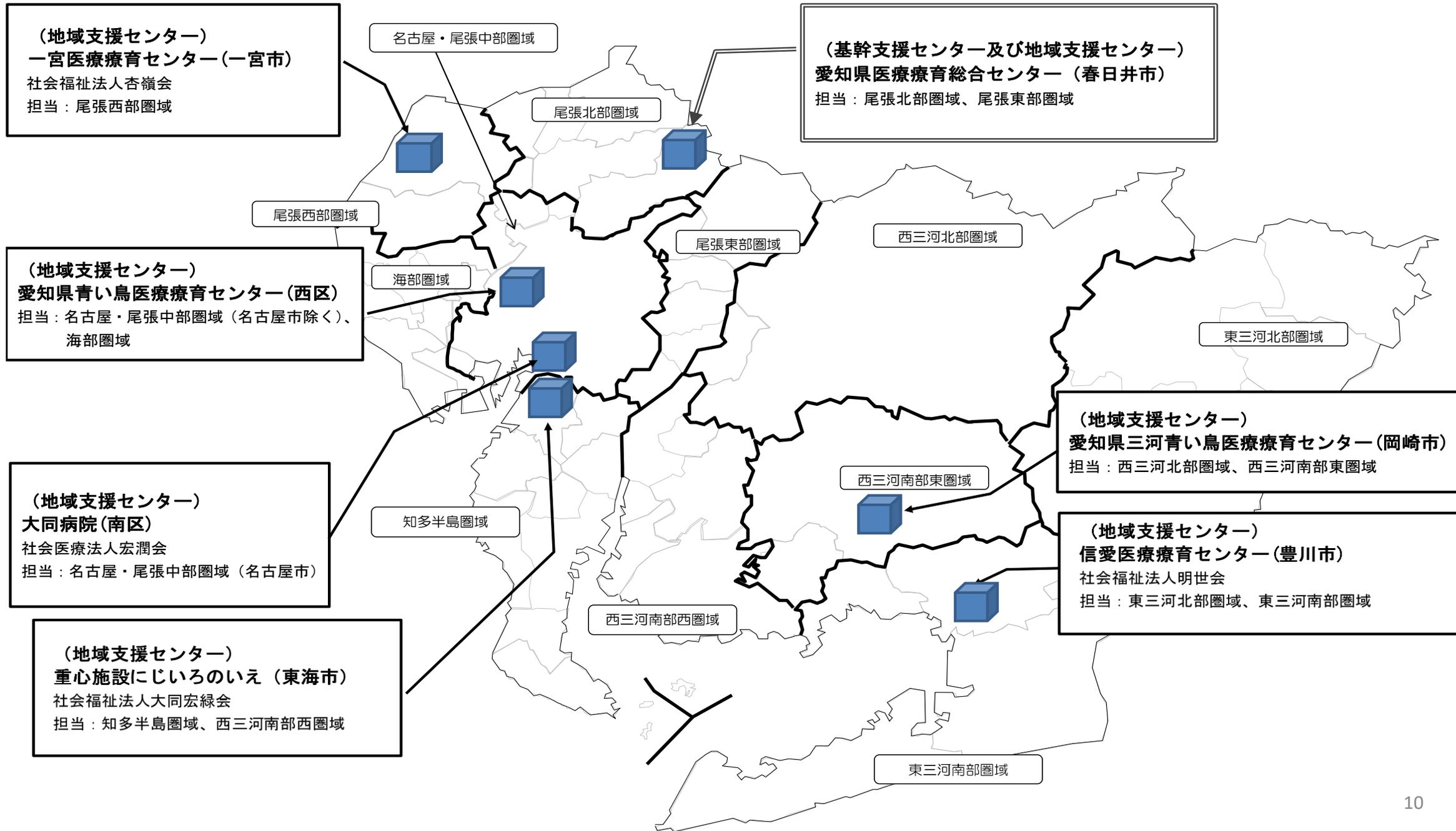
## ○愛知県の医療的ケア児支援センターの業務内容

高度で専門性が必要な相談への対応など、県内の医療的ケア児に対する支援の中核的機能を持つ「**基幹支援センター**」と、それぞれの圏域等の実情に応じた支援を行う「**地域支援センター**」を設置する。

		基幹支援センター【1か所】 (愛知県医療療育総合センター)	地域支援センター【6か所】 (重症心身障害児者施設等)
業 務 内 容	専門相談	地域支援センターにおいて対応困難な高度で専門性が必要な相談への対応	市町村等において対応困難な専門性が必要な相談への対応
		どこに相談すればよいのかわからない医療的ケア児等からの相談への対応、保育所・障害福祉サービス事業所等支援者からの相談への対応	
	地域支援	<b>【全県を対象とした研修】</b> 医療的ケア児に対応している看護師等専門職が高度・最新の知識及び対応方法を学ぶ研修の実施 保育所等において医療的ケア児を受け入れるにあたり、必要な基礎的な対応を学ぶ研修の実施	<b>【訪問研修】</b> 医療的ケア児を受け入れるための障害福祉サービス事業所や保育所等への訪問研修の実施
		<b>情報収集・発信</b> 医療的ケア児等や支え手となる関係者に役立つ情報を一元的に集約し発信するウェブサイトを作成するとともに、医療的ケア児支援施策を紹介する当事者向けリーフレット等による広報啓発を実施 県内の地域の社会資源等に関する情報収集及び関係者への情報発信	地域の障害福祉サービス事業所等の社会資源等の情報収集
	関係機関連携	地域支援センターが開催する圏域会議、アドバイザー会議等への参加 県自立支援協議会医療的ケア児支援部会への参加	圏域内の関係機関連携のための連絡会議の開催 市町村協議の場への参加

※基幹支援センターは一部地域の地域支援センターとしての機能も担う

# 医療的ケア児支援センター（重症心身障害児施設等）の配置及び担当圏域



## 愛知県の医療的ケア児支援センター事業

2022年度当初予算額 49,720千円

○基幹支援センター費 6,708千円

- ・医療的ケア児専門ウェブサイトの作成
- ・全県を対象とした専門研修の開催経費等
- ・地域支援センター兼務分の事務費も含む

○地域支援センター費 43,012千円

- ・地域支援センターの委託料(6か所分)  
人件費、事業に係る経費(研修、連携会議  
の開催経費等)一式